

実店舗とECを組み合わせた無人店舗 博覧百貨が熊本にオープンしました

株式会社白青社のコンテンツ「博覧百貨」が、熊本市EC展開伴走型支援事業に採択され、熊本博覧百貨-しつらえはじめる-として熊本市中央区辛島町に期間限定オープン致しました。1904年に醤油醸造蔵として建てられた歴史的建造物をリノベーションし、地域のデザインプロダクトが展示され、実際に触って体験しECを使って実際に購入できるハイブリット型無人店舗です。地域の企業のPR及び購買の場として、地域の特色ある産業を見て楽しむ観光の場として、地域の特色ある歴史的建造物を楽しむ場として、これから全国の自治体及び歴史的建造物を管理する企業など協業先を募集し全国で展開致します。

□名称 熊本博覧百貨-しつらえはじめる-

□期間 2022年12月1日-2023年2月末日

□主催 熊本市

□運営 株式会社野田市兵衛商店



□概要 熊本市限定で制作された工芸品・加工食品を販売するオリジナルデザインのECモデルを展開。連動して歴史的建物をリノベーションした博覧会場もオープン。実際に製品を触って体験し、QRコードから読み込まれた特別な商品ページで細かな情報を知り、そのままECで購入。商品は出展者より直接郵送され、後日お客様のお手元に届きます。

□Web <https://kumamoto-hakuranhyakka.studio.site/>

博覧百貨のアドバイザリーパネル 津田晴美さんのメッセージ

歴史的建物の優れた佇まいは、初めて訪れる人の緊張を深い懐で温めてくれます。無人会場に入ってすぐの「博覧百貨の楽しみかた」を習得するうちに傍観者から参加者のココロにチェックインしています。

ポケットからスマホをだして目の前の商品のコンテンツを観る。そこには見るべき価値のあるドキュメンタリーが立ち上がってきます。映像を観るうちにものづくりの工程への興味や共感の熱量が上がり、ライブ感のなかでつい購入ボタンをポチってしまいます。

無人店舗なのに人間味に溢れたしくみ—時間軸と空間軸を立体的に展開し、作る人と同じ熱量で映像を会期中に発信する。これが熊本市から「博覧百貨」に託された伴走型支援の実証となることを。ぜひこの機会にお立会い願えれば幸いです。

□株式会社白青社

店舗に関わる企画・店舗デザイン・Webデザインなど、統一された世界観を表現するため全てを内製で行う事が可能な"小さな商業ディベロッパー"

複合商業施設から築60年の小さな戸建て賃貸住宅群リノベーション&ブランディングまで幅広く手がける。

2021グッドデザイン賞受賞 熊本の古い町並みを蘇らせる、わずか奥行き90cmの無人店舗「マドカイ」が、リアルとオンラインをハイブリット化することで安価かつ効果的に販促創出を可能にするサービスデザインとして高く評価されました。

□津田晴美

東京にて美大卒業以降、建築、ファッション、テキスタイルの会社を経て、雑誌の創刊準備からホテルや百貨店など多数の計画に参加してきた。

1990年代はテキスタイル展や美術展の監修およびセミナーを開催してきた。

2013年熊本に移転。現在はギャラリー運営と空間デザイン及びプランニングをしている。ライフスタイルの著書多数、自然科学の翻訳。

このプレスリリースに関するお問合せ先

株式会社白青社 担当：荒木信也

E-mail: araki@aguri.eco.to または白青社のサイトより

※その他、写真データを用意しておりますのでご用命ください。

